



公益社団法人日本記者クラブ  
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1  
Tel 03-3503-2722 Fax 03-3503-7271  
Japan National Press Club  
2-2-1 Uchisaiwaicho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011  
<https://www.jnpc.or.jp/>

## プレスリリース Press Release

2026年4月27日  
公益社団法人 日本記者クラブ

### 日本記者クラブ賞はジャーナリストの菅谷齊氏に 同特別賞は東日本放送「旧優生保護法問題」取材班、 TBSテレビ「報道特集」兵庫県問題取材チームに

公益社団法人日本記者クラブ（老川祥一理事長）は4月27日、理事会を開き、2026年度の日本記者クラブ賞を、50年以上にわたりプロ野球を取材し、著書を通じてプロ野球の歩みを日本の近代史の中で捉え、スポーツジャーナリズムの価値を高めたジャーナリストで共同通信社社友の菅谷齊さん（82）に贈ることを決めた。また同特別賞を、旧優生保護法下の強制不妊手術の被害を訴える女性を28年、最高裁の違憲判決まで追い、地方に根差した報道を続けた東日本放送「旧優生保護法問題」取材班と、兵庫県政の混乱を機にSNSでのデマや誹謗中傷の拡散が選挙や民主主義をいかに歪め、個人の尊厳や命を脅かすかという、現代の社会病理を明らかにしたTBSテレビ「報道特集」兵庫県問題取材チームにそれぞれ贈ることを決めた。

贈賞式は5月27日、日本記者クラブで行い、賞状と副賞を贈る。

また、受賞者による受賞記念講演会を、6月29日に日本記者クラブで行う。この催しには日本記者クラブ会員、会員社所属記者だけでなく、一般の読者・視聴者も参加できる。

以下の資料を添付します。（本ページ含め計5ページ）

- 【贈賞の理由】
- 【受賞者・団体の紹介】
- 【日本記者クラブ賞と日本記者クラブ賞特別賞について】
- 【日本記者クラブ賞受賞記念講演会の案内】

問い合わせは日本記者クラブ事務局（担当・杉本、電話 03-3503-2727）



公益社団法人日本記者クラブ  
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1  
Tel 03-3503-2722 Fax 03-3503-7271  
Japan National Press Club  
2-2-1 Uchisaiwaicho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011  
<https://www.jnpc.or.jp/>

## 【贈賞の理由】

### ▼日本記者クラブ賞

菅谷 齊 ジャーナリスト、共同通信社社友

50年以上、プロ野球を取材し、82歳の今もコラムを書き続ける。『日本プロ野球の歴史—激動の時代を乗り越えて—』は、スポーツの精緻な記録にとどまらず、「二・二六事件」の年に産声を上げたプロ野球リーグ戦が、歴史の荒波にもまれながら日本の社会に根付いていった様子を、豊富なエピソードとともに描き、スポーツジャーナリズムの価値を高めた。

### ▼日本記者クラブ賞特別賞

東日本放送「旧優生保護法問題」取材班

旧優生保護法下の強制不妊手術に世の中が注目していなかった1997年から宮城県の被害者の訴えに耳を傾け、早い時期に番組を通して非人道性を訴えた。4人の記者と1人のプロデューサーがバトンをつなぎ1人の被害者に寄り添い、旧優生保護法を憲法違反とする最高裁判決を勝ち取るまで追い、地方に根差したジャーナリズムの公共的な役割を示した。

TBSテレビ「報道特集」兵庫県問題取材チーム

兵庫県政と県知事選挙の混乱を追うキャンペーン報道により、デマや中傷がSNSを通じて拡散され、人権を踏みにじり、選挙の結果にまで影響を及ぼすさまを追った。番組関係者のみならず、スポンサーまでもが激しい攻撃にさらされる中、事実を迫及する姿勢を貫き、デマ拡散の仕組みに深く切り込んだ調査報道は、現代社会の病理を浮かび上がらせた。



公益社団法人日本記者クラブ  
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1  
Tel 03-3503-2722 Fax 03-3503-7271  
Japan National Press Club  
2-2-1 Uchisaiwaicho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011  
<https://www.jnpc.or.jp/>

## 【受賞者・団体の紹介】

### 菅谷 齊（すがや・ひとし）氏

共同通信社社友。1943年8月3日、東京生まれ。法政大卒。69年共同通信社入社。主に野球を取材し、巨人、阪神、大リーグなどを担当。84年ロサンゼルス五輪特派員。名古屋支社運動部長、本社スポーツデータ部長、編集委員。野球殿堂選考代表幹事を務め、三井ゴールデングラブ賞を設立したほか、社団法人野球振興会（プロ野球OBクラブ）事務局長などを歴任した。東京プロ野球記者OBクラブ会長。法政二高の硬式野球部時代に甲子園大会の夏春連覇を経験。著書は『日本プロ野球の歴史—激動の時代を乗り越えて—』（大修館書店、2023年）、野球指導書など。

### 東日本放送「旧優生保護法問題」取材班

1997年、報道部にかかってきた1本の電話から始まった旧優生保護法問題の取材。電話口の相手は優生手術による被害を訴える仙台市の飯塚淳子さん（仮名）だった。報じた当初は追従するマスコミはほとんどなく、議論を起こすには至らなかったが、2018年に飯塚さんの活動を知った別の被害女性が提訴したことをきっかけに全国各地で被害者が声を上げ、24年に最高裁の違憲判決を勝ち取った。28年にわたり、4人の記者と1人のプロデューサーがバトンをつなぎ、飯塚さんが人生を取り戻すために闘う姿を記録し続けた。

### TBSテレビ「報道特集」兵庫県問題取材チーム

兵庫県政の混乱をきっかけに、取材チームは2024年8月から25年11月まで計16回にわたって「兵庫県知事選等をめぐるキャンペーン報道」を展開した。取材班のみならず、出演者やスポンサーまでもが激しい誹謗中傷にさらされる中、SNS全盛の時代にデマや誹謗中傷の拡散が選挙や民主主義をいかに歪め、個人の尊厳や命を脅かすかという、現代の深刻な社会病理を調査報道で明らかにした。一連の報道は「調査報道大賞」の大賞、「石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」公共奉仕部門の大賞を受賞するなど、高い評価を受けた。



公益社団法人日本記者クラブ  
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1  
Tel 03-3503-2722 Fax 03-3503-7271  
Japan National Press Club  
2-2-1 Uchisaiwaicho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011  
<https://www.jnpc.or.jp/>

## 【日本記者クラブ賞と日本記者クラブ賞特別賞について】

日本記者クラブ賞は、千葉雄次郎氏（元日本新聞学会会長）が同クラブに贈った寄託金を基金として1972年に創設された。その後も、クラブへの寄付金を基金に積み増し、賞を運営している。報道・評論活動などを通じて顕著な業績をあげ、ジャーナリズムの信用と権威を高めた日本記者クラブ会員および法人会員社に属するジャーナリスト個人に贈る。今回の菅谷齊氏を含め、これまでの受賞者は計62人。

日本記者クラブ賞特別賞は、クラブ賞創設40年を機に、より開かれた賞をめざして2012年度に新設された。原則としてクラブ会員以外の内外のジャーナリストやジャーナリズム活動に贈るが、クラブ加盟社の取材班、番組チームなども対象に含めている。ジャーナリズムの向上と発展につながる特筆すべき業績や活動を顕彰する。今回の東日本放送「旧優生保護法問題」取材班、TBSテレビ「報道特集」兵庫県問題取材チームを含め、これまでの受賞は計20件。

いずれも日本のジャーナリズムの高い水準を示す表彰であり、日本記者クラブの公益目的事業のひとつである。

※歴代受賞者は日本記者クラブのホームページにある「日本記者クラブとは」から「日本記者クラブ賞」を選択すると参照できます。



公益社団法人日本記者クラブ  
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1  
Tel 03-3503-2722 Fax 03-3503-7271  
Japan National Press Club  
2-2-1 Uchisaiwaicho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011  
<https://www.jnpc.or.jp/>

## 【日本記者クラブ賞受賞記念講演会の案内】

2026年度日本記者クラブ賞受賞者による受賞記念講演会を開催します。印象に残る取材や報道にかける思いなどを語っていただくほか、参加者との質疑応答の時間も設けます。日本記者クラブ会員、会員社所属記者だけでなく、一般の読者・視聴者も参加できます。

- ◆日時 2026年6月29日(月) 午後5時～7時
- ◆登壇者
  - ・菅谷齊 ジャーナリスト、共同通信社社友
  - ・東日本放送「旧優生保護法問題」取材班  
代表：高橋直希 東日本放送報道制作局報道部  
記者・ディレクター
  - ・TBSテレビ「報道特集」兵庫県問題取材チーム  
代表：村瀬健介 TBSテレビ「報道特集」キャスター
- ◆開催形式 会場およびオンライン（Zoom ウェビナーを使用します）
- ◆会場 日本記者クラブ 10階ホール（東京都千代田区内幸町 2-2-1）
- ◆参加費 無料
- ◆応募方法 日本記者クラブのホームページ（<https://www.jnpc.or.jp>）の「お知らせ」に応募フォームを掲載しています。  
1人の申し込みで2人まで応募できます。希望の参加形式（会場またはオンライン）と連絡先を忘れずに記入してください。  
いただいた個人情報は本講演会以外の目的には使用いたしません。
- ◆応募締切 6月26日(金) 17時